

ゆた 豊かさ

話してみよう



ゆた 豊かな生活と聞いて、どんな生活をイメージしますか。



ゆた 「豊かさ」のショートストーリー

- ・ となり 隣のおじいちゃん
- ・ おいしいお肉が食べられるまで
- ・ て 手のひらの100円玉



となり 「隣のおじいちゃん」

だいがくせい ひとりぐらし はじ だいがく へや か
大学生になって一人暮らしを始めた。大学のそばのアパートに部屋を借りたのだけれど、
ぼく となり へや とし と ふうふ 暮らし いる。アパートの部屋には 表札がかかって
いないのでその夫婦の名前は知らないけれど、アパートの廊下で会ったときにはいつも
あいさつ をするし、ときどき たち 話 もする。僕の祖父は僕が小さい頃に亡くなった。だから、
ぼく となり す ふうふ
僕は隣に住んでいる夫婦を「おじいちゃん」「おばあちゃん」と呼んでいる。

となり 隣のおじいちゃんは、 昔、 だいがく せんせい
大学の先生だったらしい。何を教えていたかは、 知らない。
だいがく ていねんたいしよく 1) した 後、 おくさんが 昔 に住んでいたこの地域に引っ越してきたそうだ。

げつようび かようび きんようび
月曜日と火曜日と金曜日におじいちゃんによくアパートの廊下で会う。おじいちゃんは
しゅう みつか たつきゅうきょうしつ かよ たつきゅう
週に3日、卓球教室に通っている。卓球はここに来てから始めたそうだけれど、今では
じょうず になって、ときどき 地域の試合にも出ているらしい。卓球教室で友だちもたくさん
できて、月に1回は卓球の友だちと山登りに行くそうだ。

たつきゅう
卓球だけではない。おじいちゃんは、 昔、 だいがく せんせい
大学の先生だったこともあって、勉強もたく
さんする。卓球がない日は、 だいたい 市の図書館に行って本を読んでいる。

ぼく
僕はときどき、おじいちゃんから旅行のお土産をもらう。とうきょう ほっかいどう にほん お土産
だけではなく、先月はエジプトのお土産をもらった。どうしてそんなにいろいろなところを
りょこう するのだろうかと思っていれば、 だいがく けんきゅうしゃ とよく 研究のための調査に
行ったり、学会 2) に参加したりするのだと教えてくれた。図書館で本を読むだけではなく
て、今でも学会で勉強しているなんて、勉強嫌いの僕には信じられない。でも、おじい
ちゃんはそのも 楽し そうだ。

なつやす ふゆやす
夏休みや冬休みになると、おじいちゃんのお孫さんの家族がアパートに遊びに来る。その
ときはおじいちゃんの部屋がにぎやかになるので、 隣 の部屋の僕は、おじいちゃんのお孫
さんが来たことがすぐにわかる。一度、アパートのそばの公園でおじいちゃんがお孫さんと散歩
しているのを見かけたことがあるけれど、おじいちゃんはとても うれし そうな顔をしていた。

1) 定年退職：会社の規則でその歳になったら仕事をやめること。日本は65歳が多い。

2) 学会：研究者が研究の結果を発表したり、研究について意見交換したりする場。

僕のアパートは古いアパートだから、家賃はそんなに高くない。おじいちゃんは奥さんと二人暮らしだから、おじいちゃんの部屋は僕の部屋より広いと思う。でも、古いアパートに住んでいるぐらいだから、おじいちゃんもお金持ちではないだろう。それでも、おじいちゃんは、なんだか毎日楽しそうだ。僕はまだ大学生になったばかりだから、70歳ぐらいの自分がどんな生活をしているかなんて、全く想像ができない。でも、このおじいちゃんのように暮らせたらいいだろうなと思う。



「おいしいお肉が食べられるまで」

わたしは食べられるために生まれてきた牛です。私の一番古い記憶は、生まれて2カ月のときです。自分の番号が書かれたプレートが耳に付けられました。私が牛肉になるまでの全てが記録されるので、何か問題が起こったとき、人は私の情報を探することができます。そして、3カ月が過ぎたとき、鼻にリングを付けられました。痛かったです。でも、これのおかげで、人と一緒に動くときや爪を切ってもらったとき、病気を治してもらったときなどに便利です。

私は1歳になるまでは、時々外に出て散歩をしていました。でも、1歳になってからは、小屋から出してもらえませんでした。おいしい牛肉になるように、あまり運動しないで、たくさん食べて、太らなければならなかったからです。私は10歳になるまでに、6回子どもを産みました。普通は、ここで牛肉になります。

でも、私は幸運でした。ずっと住んでいた小屋から新しい家に引っ越すことができました。自然がたくさんある山の上に家がありました。ここでは、たくさんの牛と一緒に毎日散歩ができました。友達も新しい恋人もできました。そして、また子どもを産むことができました。幸せな時間を過ごせました。

誰でもいつかは死にます。たくさん子どもを産んだ牛は脂が少なく、味が落ちると言われています。もし、牛肉として食べてもらえなければ、ゴミとして捨てられます。私は20歳まで生きました。最後は牛肉となってスーパーで売られて、私の一生は終わりました。

今日、スーパーで買わなきゃいけないのは、キャベツ、にんじん、魚、お肉…。あっ、今日は牛肉のセールしてる！ 今晚はこの牛肉でステーキにしようかな。

家族：いただきます。

父親：あれ、ステーキ！？今日は、特別な日だっけ。

母親：牛肉が安かったから、ステーキにしたの。おいしい？

子ども：うん、おいしい！

父親：普通の日にステーキが食べられて、今日はいい日だ。

子ども：そうだね。おいしいステーキが食べられて、僕は幸せだ！



「手のひらの100円玉」

僕の母親は、僕のことをあまりほめない。

僕にもいいところはたくさんある（と思う）が、母親はそれらを話すときでも、かならず最後には僕の悪い点について話す。

一つ面白い話がある。僕が高校生のとき、同級生の親たちはよくお互いの子どもを自慢した。スポーツが上手だとか、前回の試験でいい成績を取ったとか、そんなことだ。そんなとき、僕の母親は、僕が高校3年間で一番悪かった成績を例に出して、自分の息子がどんなに勉強ができないかを語った。

そんな僕が国立大学¹⁾に合格したとき、周りの親たちはかなりびっくりしたらしい。彼らは今でも、僕がとても運がよかったから大学に合格したと信じているに違いない。でも、実際には、僕がそんなにばかじゃなかったということだ。

そんな母親だけれども、たった一つだけ、僕がとてもいい子どもだったことを表わす話をよく語ってくれた。それは、100円玉の話だ。

僕がまだ幼稚園に通っていた頃の話だ。僕はその頃、かわいい子どもとして近所の人たちの間で人気があった。そんな近所の人々の一人が「好きなものを買ってね」と言って、僕に100円玉を一つくれた。僕は近所の小さなスーパーに行って、お菓子売り場から自分の好きなお菓子を一つだけ取って、それをお店の人に渡した。それは一つ50円だったので、お店の人は僕におつりの50円玉を渡してくれた。僕はその50円を、その近所の人々が住む家まで届けて、返した。その人は「これはあなたにあげたお金なんだから、この50円でもう一つ好きなお菓子を買ってもいいんだよ」と言ったが、僕は「いらない」と言った。

実を言うと、僕はこの話をあまり覚えていない。でも好きなお菓子を買って、とてもうれしかった気持ちは、今でも覚えている。子どもの頃の100円玉は僕を自由な気持ちにさせてくれた。このお金で何を買おう。どんなことをしよう。気持ちは大きくふくらんで、本当にいろんなことができると思えることができた。

40代になった今の僕は、同じ100円玉を手にしても、その100円玉を財布の中の他の小

1) 国立大学：国が作った大学。比較的、授業料が安い。

ぜに いっしょにしまっておくぐらいだろう。100円玉では、週末に出かけるデパートで素敵な服も買えないし、特別なときに行くおいしい寿司ランチも食べられない。

でも、素敵な服を着て、寿司ランチを食べていても、あの自由でいろんなことができると思えた気持ちは手に入らない。

タスク① ^{ないよう} ^{かくにん} 内容を確認しよう

ショートストーリーの内容を ^{ないよう} ^{ひとりひと} 一人一つずつ ^{みじか} ^{はな} 短く話してみましょう。

タスク② ^{じぶんがた} 自分語りをしよう

^{つぎ} 次の1)～3)について、まずは ^{じぶん} ^{かんが} 自分で考えてみましょう。それから ^{ほか} ^{ひと} 他の人と ^{はな} ^あ 話し合ってみましょう。

1) ^こ 子どもの頃 ^{ころ} ^{くら} に比べて、^{いま} ^{じぶん} ^{せいかつ} ^{ゆた} 今の自分の生活は豊かになったと思いますか。

2) あなたにとって ^り ^{そう} 理想的な ^{だい} ^{せいかつ} 70代の生活とは、どんな生活ですか。

3) ^{なに} ^ぎ ^{せい} 何かが犠牲になっているから ^{ひと} ^{ゆた} 人の豊かさがあると ^{かん} 感じることはありますか。

※「犠牲」は、^{なに} ^{もくてき} 何かの目的のために ^{べつ} ^{だれ} 別の誰かの ^{だい} ^じ 大事なものを ^{つか} ^す 使ったり捨てたりすること

タスク③ もっと^{ふか}深く^{はな}話そう

テーマ：IT企^き業^{ぎょう}のアップル（Apple）を作^{つく}ったスティーブ・ジョブズ（Steve Jobs）氏は、病^し気^{びょう}で亡^なくなる前^{まえ}に「私^{わたし}が得^えたお金^{かね}や財^{ざい}産^{さん}は、私^{わたし}が死^しぬ時^{とき}に一緒^{いっしょ}に持^もっていけ^いない。私^{わたし}が持^もっていける物^{もの}は、愛^{あい}情^{じょう}たっぷりの思^{おも}い出^でだけだ。こ
れこそが本^{ほん}当^{とう}の豊^{ゆた}かさであり、あなたとずっ^{いっしょ}と一緒^{いっしょ}にいてくれるもの、あなたに
力^{ちから}をくれるもの、あな^{みち}たの道^{みち}を明^{あか}るくしてくれ^いるものだ」と言^いったそうです。
ジョブズ氏^しの言^{こと}葉^ばについてどう思^{おも}いますか。また、「本^{ほん}当^{とう}の豊^{ゆた}かさ」は何^{なん}だと思^{おも}
いますか。

<自^じ分^{ぶん}の考^{かん}え>

<他^{ほか}の人の考^{かん}え>

タスク④ まとめよう

「豊^{ゆた}かさ」とは何^{なに}かを説^{せつ}明^{めい}する名^{めい}言^{げん}（かっ^{ぶん}こ^{かんが}い^い文^{ぶん}）を考^{かんが}えてみましょ^うう。

ゆた
豊^{ゆた}かさとは、

★名^{めい}言^{げん}をク^{しやう}ラスで紹^{めい}介^{げん}しましょ^うう。な^{せつ}ぜそ^{めい}のよ^{げん}うな名^{めい}言^{げん}にな^{せつ}ったの^{めい}か^{げん}も説^{せつ}明^{めい}しましょ^うう。

+α しら 調べよう

インターネットで、さまざまな形かたちの豊ゆたかかな生活せいかつを送おくっている人ひとを調しらべて、紹しょう
介かいしてみましょう。

+α あたら ことば 新しい言葉をまとめよう

「豊かさ」で自分じぶんが勉強べんきょうした言葉ことばをマップにしてみましょう。

わたしわたしの「豊かさ」の語彙ごいマップ

豊かさ